

大村工業高校バレーボール部

春高バレー

全国制覇



1月5日～9日、東京体育館で行われた第64回全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー)に出場した、大村工業高等学校バレーボール部が見事優勝しました。

決勝戦は、インターハイ王者長野県代表の創造学園にフルセットの激闘の末勝利。駆け付けた大応援団とともに喜びを分かち合い、悲願だった優勝旗を手に入れました。

1月25日、その優勝旗とともに、多くの市民や職員の歓迎を受けて松本市長を表彰しました。監督、コーチ、選手の手皆さんは晴れやかな表情で、激闘を振り返りながら全国制覇の喜びを報告し、松本市長はその偉業を称えました。



よろこびの声



監督 伊藤 隆浩

応援してくださった皆さんに感謝しています。決勝では、序盤にリードを許してもすぐに逆転。この展開が選手たちが一番成長した点だと感じています。これからは追われる立場ですが、連覇を目指して選手たちとともにがんばりたい。

よろこびの声



主将 富永 航一

今大会の1・2回戦では、自分たちの力を発揮できず苦戦しましたが、勝ち上がる毎に、自分たちのバレーができました。仲間たちに感謝し、また、これまで支えていただいた人たちに感謝していただきます。

市政のできるじゆん

1/27 江ノ串トンネル 工事安全祈願祭



九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)で、市では2番目となる江ノ串トンネル工事の安全祈願祭が、武留路町のトンネル坑口付近で行われました。

祈願祭には久保副市長をはじめ、渡邊悟(わたなべさとる)町長、地元選出の県議会議員、各市・町議会議員、地元関係者など、約80人が出席し、工事の安全を祈願しました。江ノ串トンネルは、全長1,360mで、平成27年2月に完成する予定です。

2/3 大規模な災害時の防災連携訓練を実施



国土交通省九州地方整備局と市が締結している「大規模災害時の応援に関する協定」に基づき、防災訓練が実施されました。

これは、県内11市町と協定を結んだ同整備局の主催で行われ、各市町の上空をヘリコプターで飛行し、被災状況などの映像を伝送しながら、電話などで災害時の情報収集や意見交換を行う訓練で、九州では初めて行われました。

今後にも先に行われた国民保護共同実動訓練や今回の訓練の経験を基に、災害に強いまちづくりを推進します。